

みつばち飼養による耕作放棄地再生利用の事例

取組主体 ・ みつばち菜花クラブ

地区名 ・ 下関河内地区

解消面積 ・ 114a

再生作業年 ・ 平成23年度

導入作物 ・ ヘアリーベッチ、ヒマワリ、そば

取組のきっかけ ・ いちご栽培のための蜜蜂の育成

取組の概要

耕作放棄地を国の補助事業を活用して再生した。再生したほ場にはミツバチの飼養・蜜源確保を目的としてヘアリーベッチ・ヒマワリ・そば等を作付けし、耕作放棄地解消を図った。

取組のきっかけ

いちごの受粉交配にミツバチを利用していたが、平成18年頃から全国的にミツバチ数が急減してきたことに危機感を抱き、平成19年に独自でミツバチを飼養することにした。飼養に必要な蜜源を確保するため、地区内にあった耕作放棄地に菜の花やそばを作付したことがきっかけである。

取組主体の感想

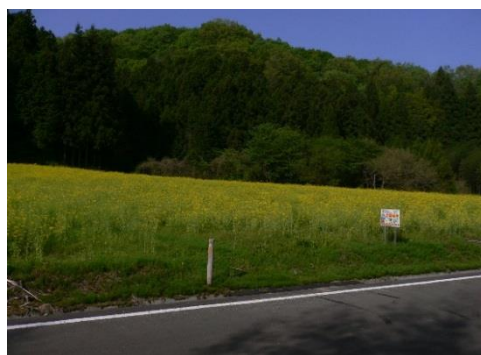
「自分たちでミツバチを飼養する」という目標は、概ね達成できたので、今後は蜜源の維持・管理に係る経費を確保できるようにしたいと考える。

解消状況例

再生前



再生後



連絡先：矢祭町耕作放棄地対策協議会（矢祭町）
電話番号：0248-46-4576 FAX：0248-46-3025

活用事業：耕作放棄地再生利用緊急対策（国）